

共生の学習・交流の空間

バリアフリーの
「児童生徒玄関」



共有スペース
「ふれあい広場・エントランスホール」



バリアフリーの
「屋上プール」



共生の理念に基づく教育活動と支援が可能



三施設をつなぐオープンスペース
(100m廊下)



発達支援センター
「プレールーム」



三施設合同リーフレット (三施設開設10周年記念事業で作成)

〒948-0022 十日町市学校町1丁目614番地32

十日町小学校 TEL 025-752-3525

ふれあいの丘支援学校 TEL 025-752-7471

発達支援センターおひさま TEL 025-752-7270




共に生きる ~夢に向かって~

十日町市立

 十日町小学校

 ふれあいの丘支援学校

 発達支援センターおひさま

共生の理念

誰もが互いの人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指し、障がいのある者も障がいのない者も一つの学舎の中で、相互に学び合い、認め合い、高め合う教育の機会を十分に保障していく。

夢の学校

- 小学校と特別支援学校の一体型校舎で、共に学び合い、育ち合う教育
- 発達支援センターの併設による、乳幼児期からの一貫した療育及び教育

十日町小学校
ふれあいの丘支援学校

発達支援センターおひさま



共生社会実現のシンボルであり、この地域に誇れる存在として、これからも共生の理念のもとに歩み続ける



様々な相談へ丁寧に対応
～乳幼児期から18歳まで～



好きな遊びを楽しむ中で大人とのやりとりをする力を育む(親子教室)

発達支援センターおひさまを中心とした乳幼児期からの療育支援・就学支援・フォローアップ



今日はサ行の発音を練習しよう



言葉や心身の発達を促す個別指導
～通級指導教室へのつなぎ～
(言語・発達・難聴)

先生、できました!



少人数で大人や友だちと活動する力を身につけるトレーニング(小集団指導)

目の検査を練習するよ



スムーズな入学に向けた十小・ふれあいの丘の学校探検



行事交流

お、いいぞ!!



城ヶ丘ふれあいカーニバル(運動会)
両校、息の合った大玉運び競走



城ヶ丘ふれあいフェスティバル(文化祭)
1つの曲を両校の児童生徒が手話で表現

動きや声も重なったね!

感謝の会 1年間交流できたことに、お互い感謝しています

十日町小学校とふれあいの丘支援学校の様々な交流教育



ナイス、アイデア!!

やまびこ班活動
城ヶ丘ふれあいカーニバル
ポスター作成

授業交流や休み時間交流



授業交流
ふれあいの丘中学生が十小6年生に清掃のレクチャー



やってもいい?!

どうぞ!!

休み時間交流
十小4年生とふれあいの丘児童の交流(通年)



ねえ、何かいるよ!!

授業交流 両校児童が水辺の探索へ



これ、何かな?!

授業交流
大地の芸術祭の作品鑑賞



すごい!!

児童生徒の心の成長

私は、ふれあいの友だちとの交流をしています。ふれあいの友だちと会うのは、さい初は不安でした。でも、たくさんいろんなことをして楽しかったです。そのことをしようかします。

まず、昼休みに遊んだことです。遊んでみて私は、あることに気が付きました。それは、大きな声が苦手な子もいるということです。その子は耳をおさえていました。それに、声をかけてもどこかへ行ってしまふ子もいました。それで私は、どこかへ行ってしまふ子には、名前を呼ぶことにしました。大きな声が苦手な子には、小さな声で遊ぶことにしました。そうすると少し仲よくできました。

つぎは、ふれあいの友だちと、あいさつをしたことです。ふれあいの子がいたらいつもあいさつをします。でも、あいさつをしても返してくれない子もいます。私は考えました。あいさつをしてくれない子には、ゆっくり聞こえるようにしたらいいかもしれないと思いました。そうしたら、あいさつを返す子が多くなりました。私は、うれしかったです。

このように工夫して、もっと仲を深めたいです。

(十日町小4年 児童)

夢の学校を支えるチーム城ヶ丘



PTA・三施設職員～環境整備～



ほほえみの会～花火大会～



三施設の職員～合同研修～



学校支援ボランティア

保護者の熱い思い

私には、10年以上前になりますが、忘れられない出来事があります。ふれあいと十小4年生は、一年間を通して交流をしています。その総まとめである十小の学習参観での発表でした。その子は、障がいがあることが「かわいそうだ」と思っていたそうです。しかし、交流を通じて障がいがあることをマイナスに考えず、むしろ夢をもち、夢に向かって頑張っていることを知り、「かわいそうだと思っていた自分が間違っていたことに気が付いた。」という発表でした。まだ10歳ですが、こんなふうに関心、考えていることに、私はとても感激したことを思い出します。

まさに、『障がいも個性』『共生の理念』。互いを認め合い共に成長することができる学校だと実感しました。大人でもなかなか学べない、素晴らしい経験と心の学習です。

今でも交流は続いています。そして、毎年、いろんなドラマが繰り広げられていることでしょう。

こうして、子どもたちが元気に遊び、安心して学べるのも多くの皆様のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様の厚いご支援をお願い申し上げます。

(ふれあいの丘 保護者)